

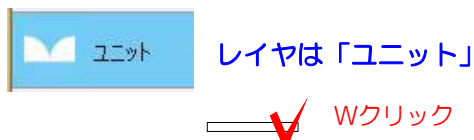
# 表札に文字を入れる方法（曲面への彫り込み文字）

曲面の表札に文字を彫り込む方法です。




表面が曲面の表札に3D文字作成して切り欠くことで、曲面にも浮き彫り文字や彫り込み文字表現が可能です。

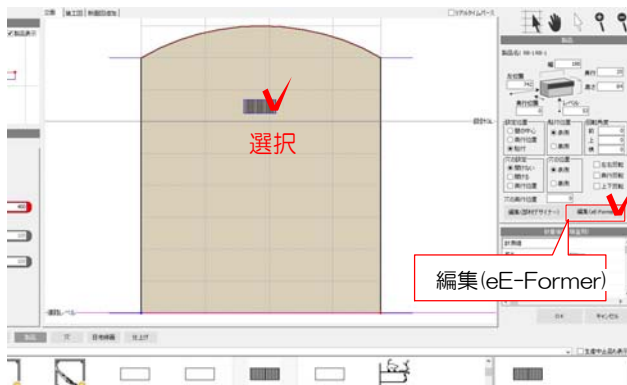
ここでは塀デザイナーの中で表札に3D文字を作成する方法を説明します。



1：ユニットレイヤで表札を付けたい門柱を作成します。

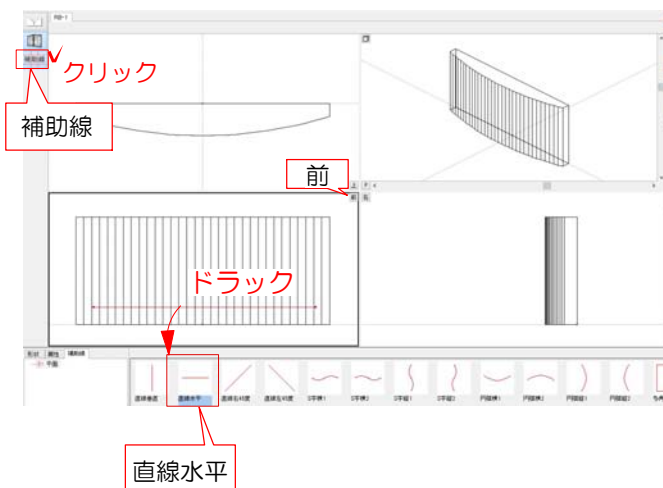
今回は  
メーカー：美濃クラフト  
種別：表札  
シリーズ：RB-1  
を使用しています。

 参考 製品の検索は  
[塀に製品を配置する方法]を検索

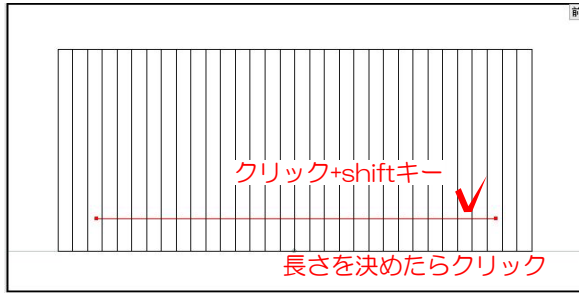


2：表札を選択して「編集（eE-Former）」をクリックします。


3：eE-Formerが起動します。



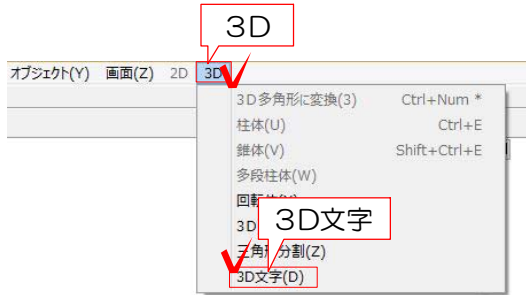
4：左上「補助線」をクリックし、補助線を前から見た画面にドラックで配置します。



5：表札に合わせて補助線の位置・長さを調整します。

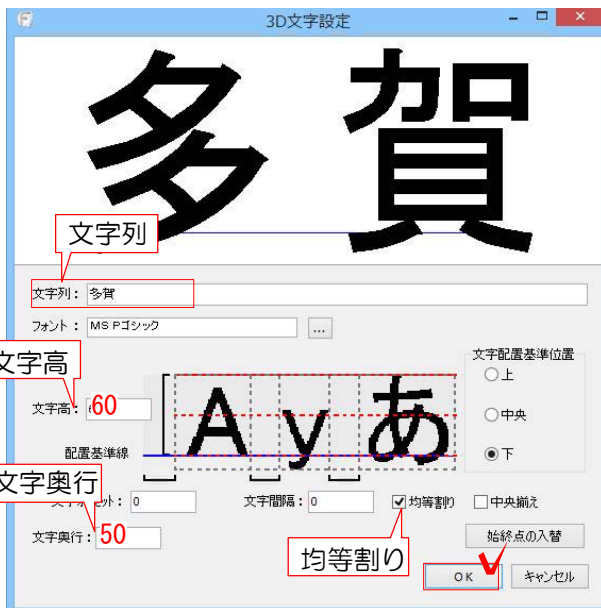
補助線の端点にカーソルを近づけると  になります。クリックしてShiftキーを押しながら長さを調整し、クリックで決定します。

※文字数やサイズによって長さを調節して下さい。



6：補助線を選択した状態で、3Dメニューの「3D文字」をクリックします。

※他の図形も一緒に選択しているとメニューを選ぶことができません。補助線が1つだけ選択されているか確認しましょう。



7：文字列に作りたい文字を入力します。Enterキーをクリックします。

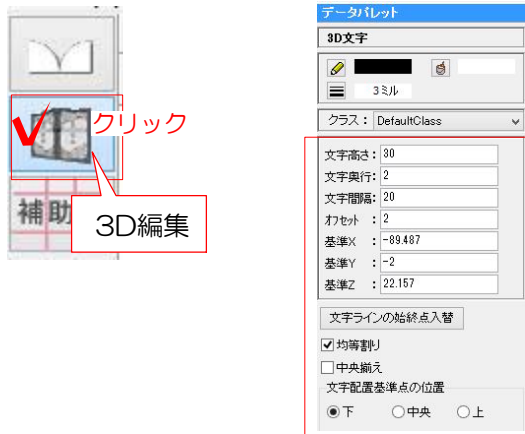
文字高・文字間隔・フォントなどを設定してOKをクリックします。

※3D文字が表札を突き抜けるように文字奥行は表札より厚くなるようにします。


※こちらの画面では文字を作る範囲を変えることは出来ません。一度作成画面を閉じて補助線の長さを調節してから作成しましょう。

詳しくは

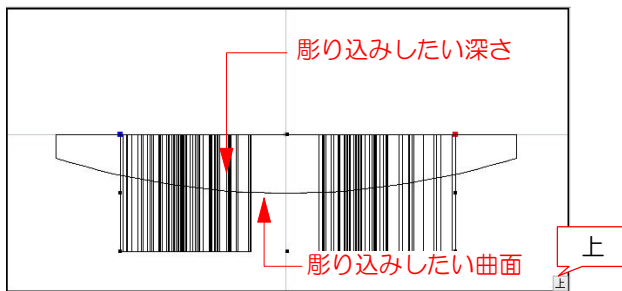
 [おすすめ&新機能→オーセブンCAD](#)  
[11新機能→3D文字作成機能](#)



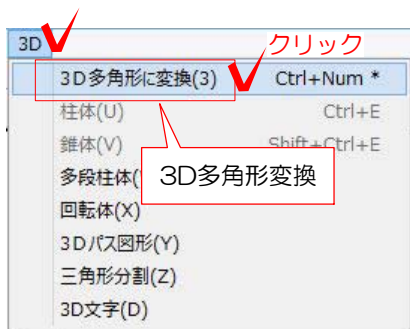
8：3D文字ができました。  
左上の3D編集をクリックします。

 3D文字を編集したい場合は、画面右のデータパレットで数値の変更することが出来ます。

または作成した3D文字をWクリックして編集することが出来ます。

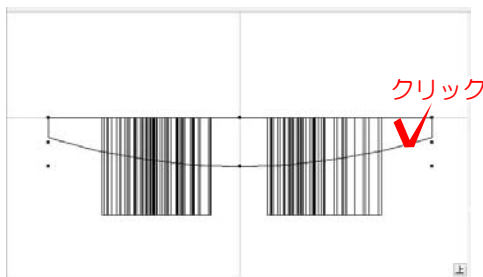


9：上から見た画面で3D文字の位置を確認します。  
彫り込みたい深さ（正面から見て奥行き方面）と彫り込みたい曲面より突き出るようにします。

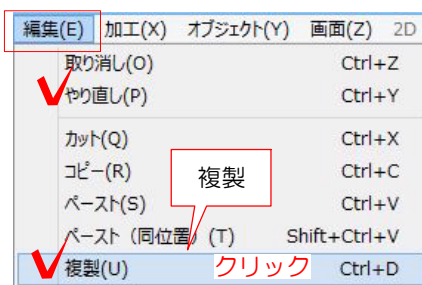


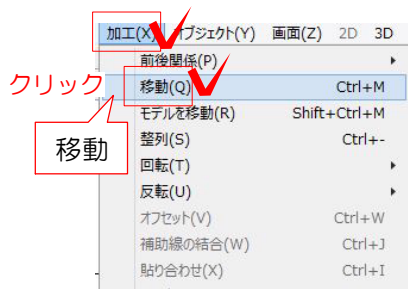
10：3D文字を選択した状態で、3Dメニュー「3D多角形変換」をクリックします。

※3D多角形変換は3D文字設定画面で編集が出来ません。

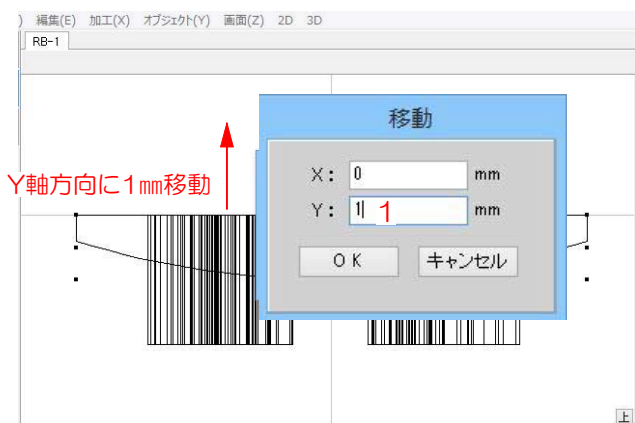


11：表札を選択して、編集メニューの複製をクリックします。これは彫り込み面の奥を作成するための作業です。

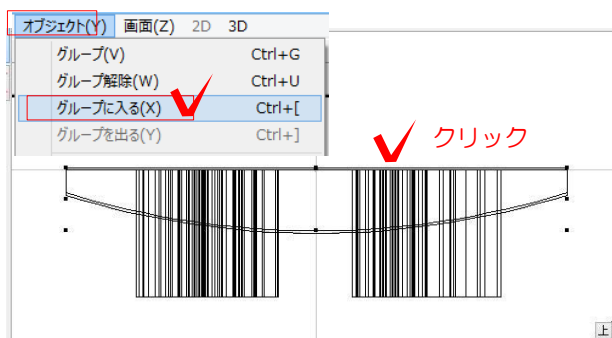




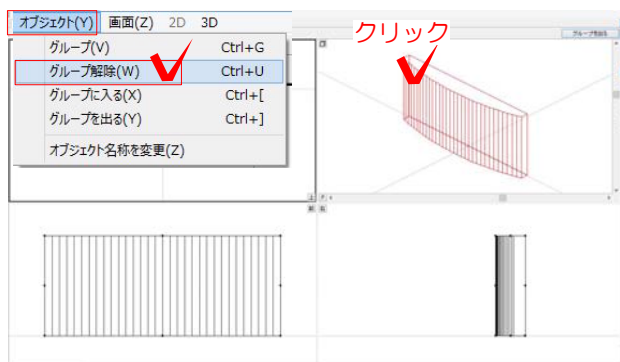
12：複製した表札を選択した状態で、加工メニューの移動をクリックします。



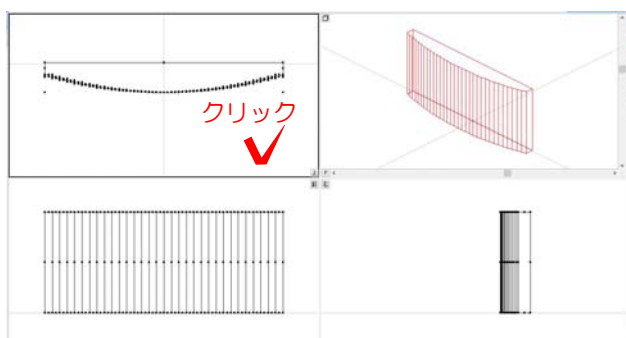
13：1mm程度奥へ移動します。



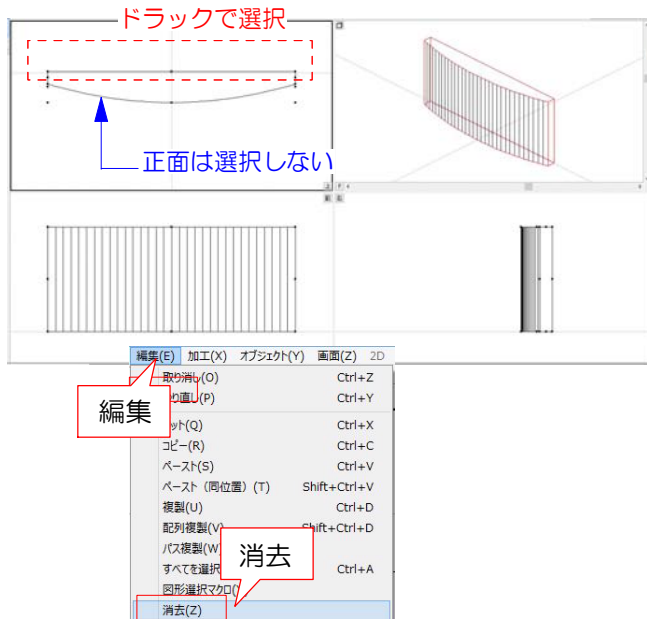
14：複製して奥へ移動した表札を選択し、オブジェクトのグループへ入るをクリックします。



15：表札を選択し、オブジェクトメニューのグループ解除をクリックします。

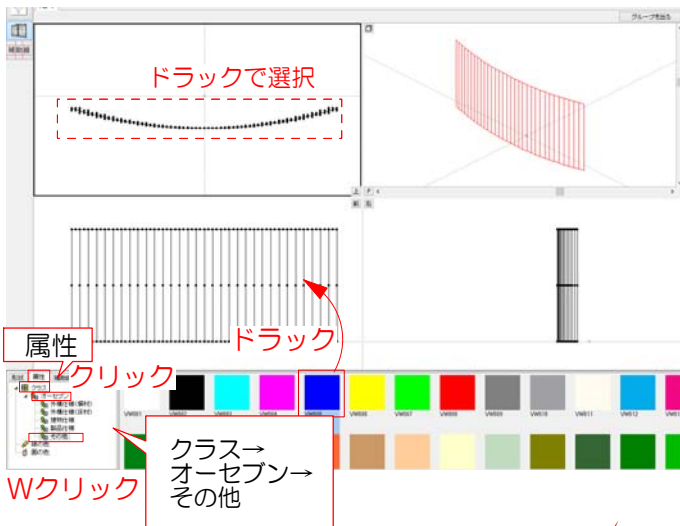


16：グループ解除されます。何もないところをクリックして選択解除します。




17：前の画面で、正面の曲面以外の面を選択します。

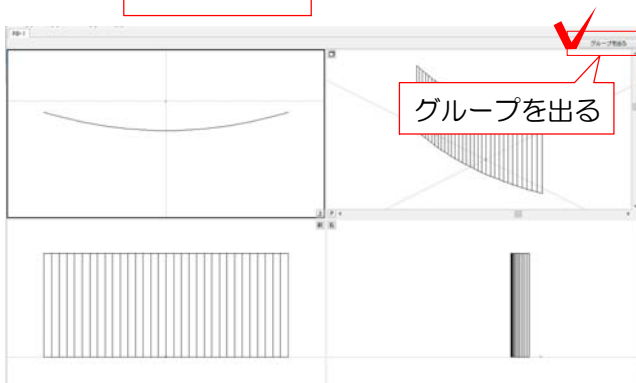
18：編集メニューの削除をクリックします。正面の曲面が残ります。



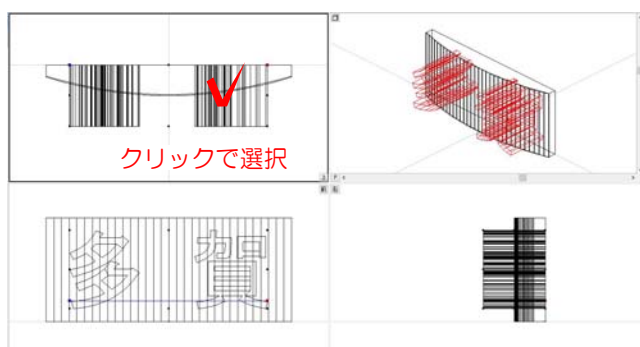
19：残った正面の面をすべて選択します。

20：属性→クラス→オーセブンから仕様をWクリックで選ぶ（「P」以外の画面に）ドラックして仕様を割り当てます。

※右上「P」の画面のボタン  をクリックするとカラーで確認出来ます。

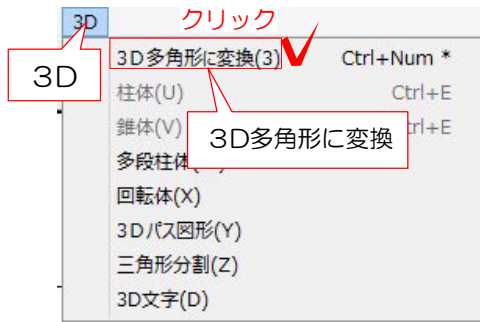


21：グループを出るをクリックします。



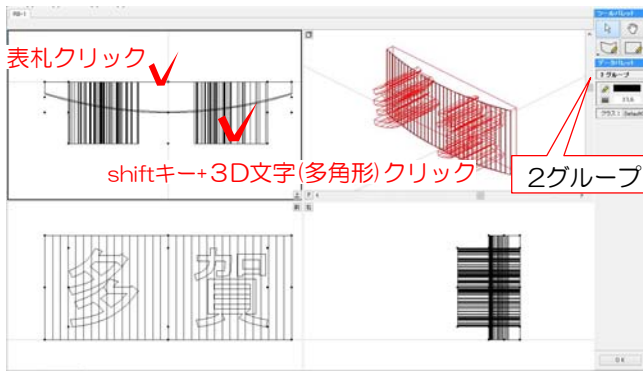
22：彫り込んだときに見える、奥の面が出来ました。

3D文字をクリックで選択します。



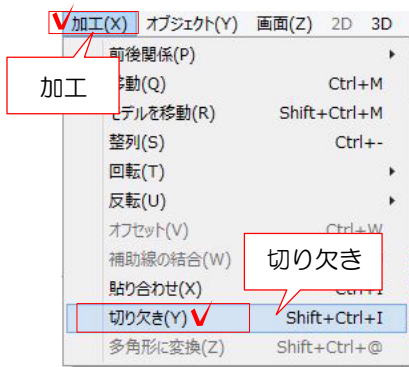
23：3D文字を選択した状態で、3Dメニュー「3D多角形に変換」をクリックします。

※3D多角形に変換した後は3D文字設定画面で編集が出来ません。

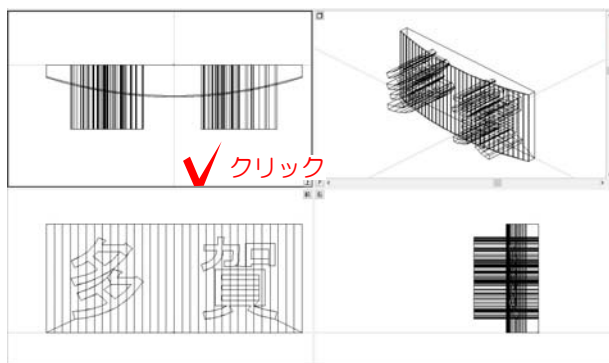


24：表札本体と3D文字（多角形）をクリックで選択します。

データパレットに2グループと表示されます。



25：加工メニュー「切り欠き」をクリックします。



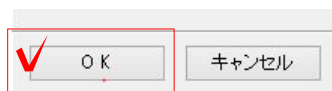
26：切り欠きが出来ました。

何も無いところをクリックして選択を解除します。



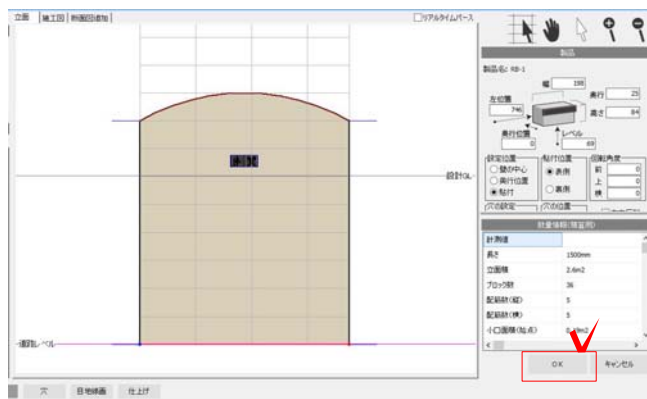
27：3D文字（3D多角形）クリックで選択し、編集メニューの消去をクリックします。

3D文字が削除され、文字の部分が切り欠かれた表札が残ります。

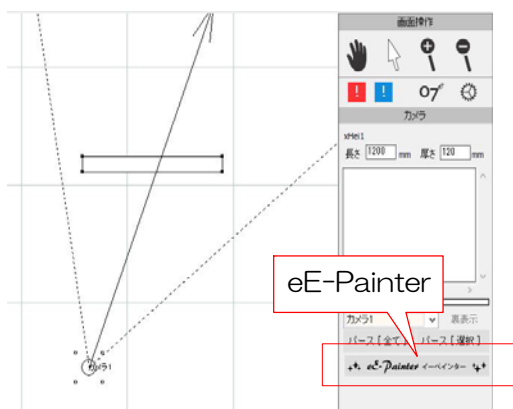


28：「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。

塀に3D文字を入れた表札が入ってきます。



29：塀に文字を作成した表札が配置されます。右下の「OK」をクリックして塀デザイナーを終了します。



30：カメラを設置してeE-Painterを起動します。



Wクリック

31：eE-Painterで確認します。テクスチャを変更する場合はレンダリングをクリックしてテクスチャを選び、表札の本体と文字にそれぞれドラックします。



32：彫り込み文字の表札を作ることが出来ました。